

技術力の維持・向上 —技術支援—

【概要】

① 技術支援

会員が抱える技術的な疑問、悩みに対して、鉄道技術推進センターでは相談窓口を設け、「文献調査等による対応」「現地調査」「訪問アドバイス」の3つの支援活動を行っています。

(1) 文献調査等による対応

会員からの鉄道技術に関する様々な疑問、質問に対して、参考文献の送付や鉄道総研研究者の見解等を文章にまとめて、電話・FAX等により回答するサービスです。

(平成8年度から実施、平成21年度末までに704件実施)

(2) 現地調査

中小鉄軌道事業者会員に対して、『鉄道総研の研究者』が現地を訪問して、技術的な調査を行うサービスです。

(平成14年度から実施、平成21年度末までに37件実施)

(3) 訪問アドバイス

中小鉄軌道事業者会員に対して、『レールアドバイザー』が現地を訪問して、助言を行うサービスです。

推進センターでは、深い知見と実務経験の豊富な鉄道技術者をレールアドバイザーとして登録しています。

(平成15年度から実施、平成21年度末までに40件実施)

② 鉄道技術教材

幅広く基礎的な鉄道技術を学べる初級者向けの教材「わかりやすい鉄道技術」土木編、電気編、車両・運転編の3編を発刊しています。平成20年度に、新たに中堅技術者向けの教材「事故に学ぶ鉄道技術（軌道編）」、平成21年度に「事故に学ぶ鉄道技術（信号編）」を作成しました。



わかりやすい鉄道技術



事故に学ぶ鉄道技術

③ 推進センター講演会

鉄軌道技術者の技術レベルの向上を図るため、毎年、関心の高いテーマを選定し、主要都市でレールアドバイザーや総研研究者による、推進センター講演会を開催しています。



推進センター講演会

④ 地方鉄道協会との連携

地方鉄道協会と連携し、推進センターの活動等についての情報発信を行うとともに、鉄道事業者の方々と意見交換を行っています。

【技術支援実施例】

●平成21年度の主な「文献調査等による対応」の例

- (土木) 河川橋脚の振動測定および振動対策
- (軌道) 駅構内分岐器の列車通過時の騒音対策
- (電気) 電車線張力の管理方法
- (車両) 車両の誘導障害試験



現地調査の状況

●平成21年度の「現地調査」

- (土木) 石積壁の安定性
- (電気) 踏切保安設備の動作安定性
- (軌道) 車輪及びレール偏摩耗対策

●平成21年度の「訪問アドバイス」

- (車両) 新車両導入に伴う検修設備の適合性
- (軌道) 線区の実態に合った軌道管理の基準値
- (電気) 特殊自動閉そく装置



訪問アドバイスの状況

問合せ先

(財) 鉄道総合技術研究所 〒185-8540 東京都国分寺市光町2-8-38
鉄道技術推進センター(管理) 電話 NTT 042-573-7236 JR 053-7236